

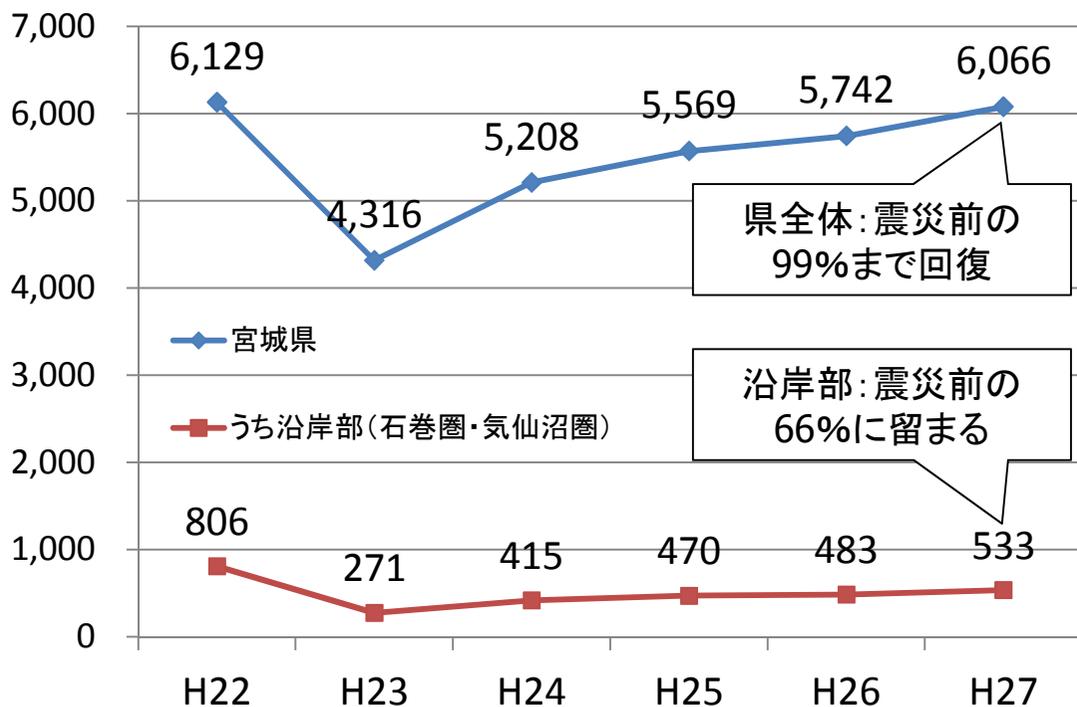
# 宮城県における観光の現状

参考資料

## ① 宮城県の観光の現状と課題(国内・国外)

- 宮城県の平成27年の観光客入込数は6,066万人で、震災から4年でほぼ震災前まで回復
- 内陸部が順調に回復する一方で、沿岸部は震災前の約7割に留まる  
(課題) ハード・ソフト両面から沿岸部の観光振興を図る必要がある

宮城県の観光客入込数の推移 (単位: 万人)



【出典】宮城県観光統計概要

圏域別観光客入込数 (単位: 万人)

圏域	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H22
仙南	567	438	578	600	636	602	106%
仙台	3,368	2,416	2,919	3,157	3,269	3,557	106%
大崎	997	885	939	952	933	913	92%
栗原	113	77	95	133	154	189	167%
登米	277	229	262	257	267	271	98%
石巻	443	192	247	280	283	318	72%
気仙沼	363	79	168	190	200	215	59%
合計	6,129	4,316	5,208	5,569	5,742	6,066	99%

内陸部と沿岸部の回復状況に差

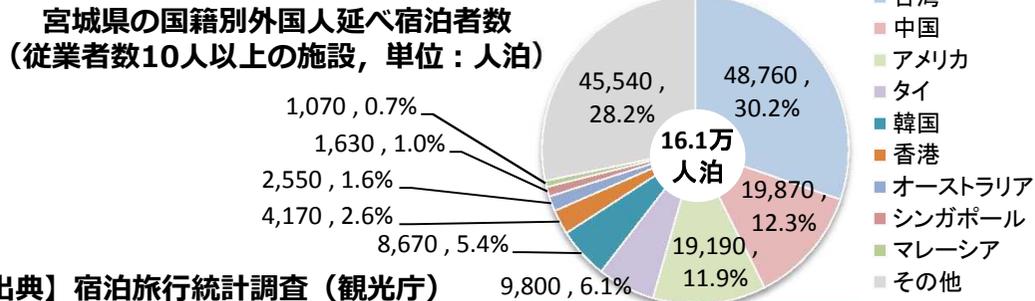
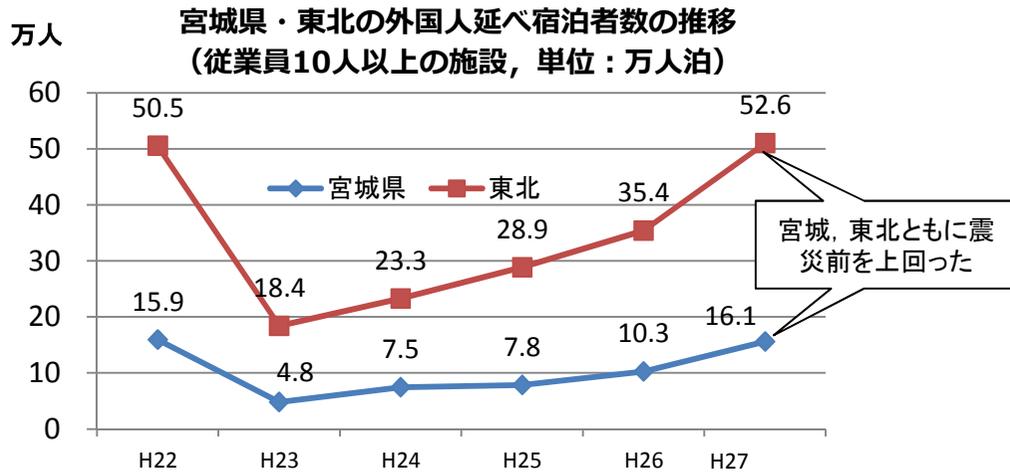


# 宮城県における観光の現状

## ②インバウンドの現状

- 宮城県の平成27年の外国人延べ宿泊者数は16.1万人
- 震災から5年でようやく震災前を上回った
- 東北地方も53万人で、震災前を上回った
- 宮城県の国籍別外国人延べ宿泊者数は台湾(30%), 中国(12%), アメリカ(12%)の順に多い

- 平成27年の訪日外国人数は1974万人で過去最高を更新
- 各地方の外国人延べ宿泊者数および観光消費額は増加の一途だが、東北はようやく震災前に戻ったばかりで伸び率は全国最低
- 伸び悩みの主要因は、海外で根強い東北に対する原発事故の風評



地方別外国人延べ宿泊者数の推移 (観光消費額)

単位: 万人泊  
(単位: 百万円)

	H22宿泊者数 (H22観光消費額)	H27宿泊者数 (H26観光消費額)	H27-H22 (H26-H22)	H27/H22 (H26/H22)
全国	2,602 (888,835)	6,051 (1,734,926)	3,449 (3,515)	233% (195%)
北海道	206 (91,925)	541 (172,210)	325 (80,285)	263% (187%)
<b>東北</b>	<b>51 (19,692)</b>	<b>53 (19,911)</b>	<b>2 (219)</b>	<b>104% (101%)</b>
関東	1,276 (495,008)	2,341 (1,008,975)	1,065 (513,967)	183% (204%)
北陸信越	66 (34,735)	155 (77,803)	89 (43,068)	235% (224%)
中部	201 (52,232)	491 (123,282)	290 (71,050)	244% (236%)
近畿	518 (30,319)	1,487 (80,563)	969 (50,244)	287% (266%)
中国	38 (15,335)	100 (28,471)	62 (13,136)	263% (186%)
四国	12 (3,944)	36 (12,618)	24 (8,674)	300% (320%)
九州	190 (31,600)	513 (48,196)	323 (16,596)	270% (153%)
沖縄	44 (21,329)	344 (未集計)	300 (—)	782% (—)

※従業員数10人以上の施設が対象

※比較可能なデータ(38都道府県)を抽出

【出典】 宿泊旅行統計調査 (観光庁)



## ③外国人旅行客宿泊者の動向



平成27年外国人宿泊者数  
16.1万人泊

入国した空港等	外国人宿泊者数 (万人泊)	宮城県までの 移動手段例	備考
成田空港 羽田空港	11.3	新幹線, 高速バス	主な移動手段を新幹線として推計(7割)
仙台空港	3.2	飛行機	主な移動手段を飛行機として推計(2割)
その他の空港等	1.6	高速バス, 観光バス	主な移動手段をその他として推計(1割)
合計	16.1		

※外国人宿泊者数は宿泊旅行統計調査(観光庁)による  
 ※平成27年 観光動態調査における「宮城県を訪れた時の主な交通機関」を外国人旅行者から聞き取り(サンプル数101人)  
 → 飛行機16.8% 新幹線67.3% 観光バス4.0% 高速バス8.9% その他3.0%  
 ※これらの数値から、外国人旅行者が本県を訪れる交通機関は、新幹線7割、飛行機2割、その他1割と推計

